



I.B.MUSEUM SaaS リニューアル情報 EXPRESS

発行元:早稲田システム開発株式会社 東京都新宿区高田馬場4-40-17 tel.03-6457-8585

✉ mapps@waseda.co.jp 🏠 www.waseda.co.jp/

Vol.11 2023.1.15 今回のテーマ | 一括処理

今回の内容とスケジュールについてのお知らせ

日頃は「I.B.MUSEUM SaaS」をご利用いただき、誠にありがとうございます。最近、訪問先の館でI.B.MUSEUM SaaSのリニューアル計画の話題になることが増えてきました。この『リニューアル情報 EXPRESS』も、多くの皆様にご覧いただいているようです。お忙しい中、本当にありがとうございます。

ただ、画面の操作ありきの情報システムを、キャプチャ画像とテキストだけでお伝えするには、やはり限界があります。「読んではいけるけれど、実際のところは完成したシステムを見てからかな」というご感想もよくいただきます。実際、I.B.MUSEUM SaaSの導入をご検討中のお客様には体験版を提供しておりますが、これも「パンフレットだけで操作をご理解いただくのは難しいだろう」と考えてのこと。このニュースレターのみでイメージするのは難しいとお感じになるのも当然です。

中でも、今回ご紹介する「一括処理」は、操作に慣れておられることが前提の管理者メニュー。その管理者ユーザの方々からも「ハードルが高い」という声があがるほど、使いこなしが難しい機能です。一括処理の対象は、主にテキストデータと画像データの2種類ですが、とりわけ画像データの一括処理である「画像照合アップロード」は、I.B.MUSEUM SaaSの数ある機能の中でも「最高難易度では」との呼び声も高く、実際にご利用中の館は全体の1割前後とみられます。しかし、使いこなしていただければ便利な機能でもありますので、弊社としても重要課題として認識し、長く議論を続けてきました。

そして今回、いよいよ改善の道筋が固まりました。細部はいまも調整が続いていますが、画面は分かりやすく、手順は短縮化できることになりそうですので、今回、詳しくご説明いたします。ただ、いつも以上にイメージしにくい内容となりますので、ともに使用頻度が少ないことからセットでご紹介する予定だった「ユーザ管理機能」と切り離し、一括処理に集中しての発行とさせていただきます。

I.B.MUSEUM SaaSリニューアル情報 EXPRESS 発行予定

Vol.1	2022/1/31	リニューアル計画概要とログイン画面
Vol.2	2022/2/28	デザインコンセプトとホーム画面
Vol.3	2022/3/31	検索トップと検索結果一覧
Vol.4	2022/4/30	詳細画面の特徴
Vol.5	2022/5/31	データ登録方法とクリップリスト
Vol.6	2022/7/15	人物・名簿とメディア
Vol.7	2022/8/31	資料利用
Vol.8	2022/9/30	公開設定
Vol.9	2022/10/31	リニューアルQ&Aとここまでのまとめ (公開設定までを振り返り)
Vol.10	2022/11/30	分類・項目設定
Vol.11	2023/1/15	一括処理
Vol.12	2023/2/15	ユーザ管理
Vol.13	2023/3/15	帳票設定
Vol.14	2023/4/15	移行方法と並行運用について
Vol.15	2023/5/15	総集編 (Vol.1からVol.13までを1冊に)

Now!

なお、この予定変更に合わせて、『リニューアル情報 EXPRESS』の発行タイミングを月末から月の半ばに変更いたします。この年末は、弊社からメールニュースを配信したばかり。社内では「多くの館が企画展の準備・開催に追われる時期に連続して、しかも管理者ユーザしか使わない難易度Sクラスの機能の情報をお届けするのは、ちょっと…」との意見もあり、年末年始時期の発行を自重いたしました次第です。

多くの皆様にとって複雑な内容のニュースレター。お忙しい月末付近より、月半ばの方がお読みいただきやすいかもしれませんね。ということで、2023年からは毎月15日の発行に。今後どうぞよろしくお願いたします。

操作権限まわりの見直し

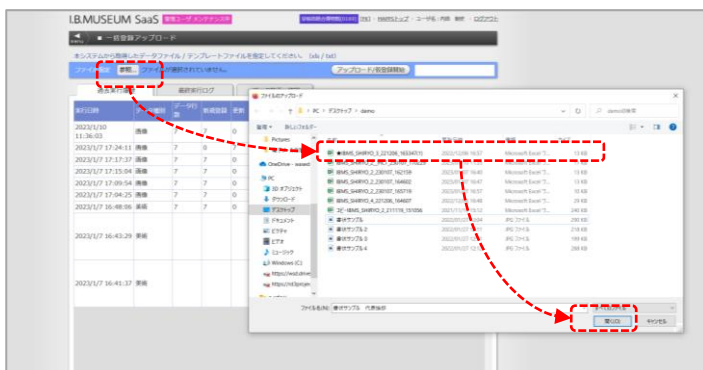
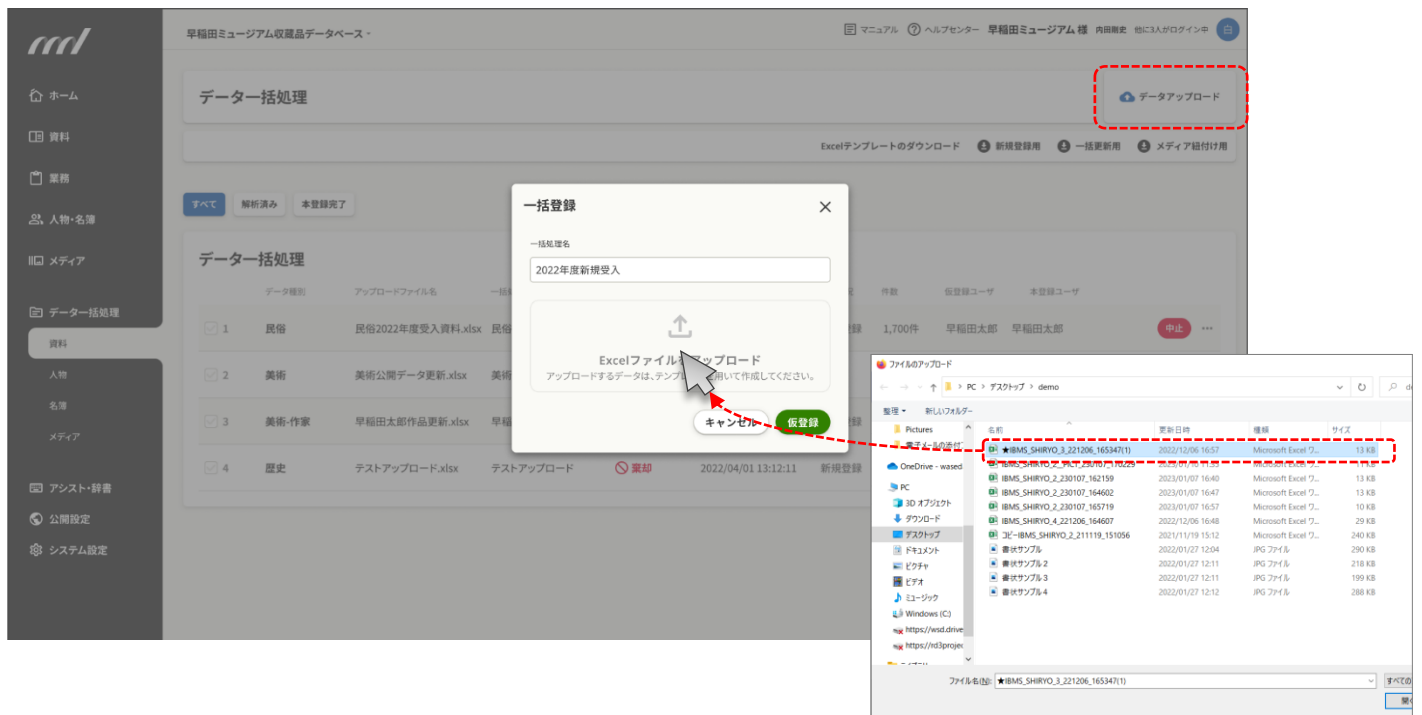
これまで管理者専用機能だった一括処理を、
仮登録までは一般ユーザも作業可能に。

I.B.MUSEUM SaaSの一括登録・一括更新の操作は、専用のExcelテンプレートを出力して内容を完成させ、それをアップロードするという流れとなります。アップロードは2段階に分かれ、仮登録でエラーチェックを行ってから正規登録へと進みます。この一連の流れについては、今回のリニューアルにおいても変更はなく、操作の手順も同様なのですが、ひとつ「権限」の扱いを改善することになりました。この小さな調整が館の作業に大きく役立ちますので、以下、詳しく説明いたします。次ページのチャートと併せてご覧ください。

データの入力を終えたテンプレートをアップロードする際、現行インターフェイスでは、システムをメンテナンスモードに切り替える必要があります。切り替えを行うと、その後は管理者権限を持つユーザだけがシステムを操作できます。

I.B.MUSEUM SaaSをご利用中の皆様はすでにご承知の通り、メンテナンスモードに切り替えると、管理者権限を持たない一般ユーザは強制ログアウトとなります。したがって、一括登録作業を行う際には、管理者ユーザは「自分以外をログアウトさせても問題ないか」について、一般ユーザの利用状況の確認が必要でした。これから作業を行う旨の声掛けを行ったり、作業予定を館内で事前に通知するなど、一括処理機能をご利用の館では運用に工夫いただいているかと存じます。

今回のリニューアルにおいては、この仮登録まではメンテナンスモードに切り替えることなく行えるようになります。これにより、管理者権限を持たない一般ユーザも仮登録作業を担当できるようになるわけです。



データのアップロードは Excelファイルをドラッグ&ドロップ

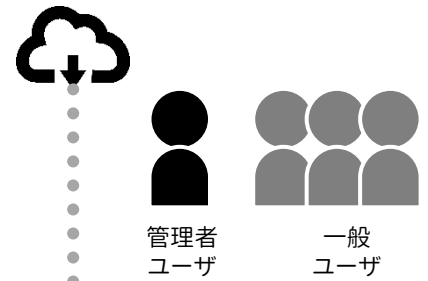
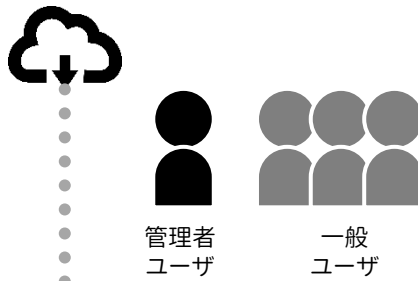
右上の「データアップロード」から、テンプレートをアップロードするためのモーダルが立ち上がります。現行インターフェイスではExcelテンプレートのファイルを指定していますが、新インターフェイスではドラッグ&ドロップだけでアップロードできるようになります。

一括登録（テキスト）の新旧比較

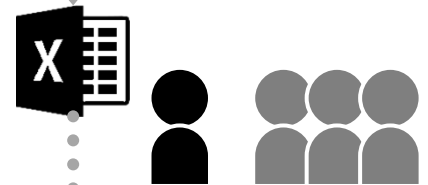
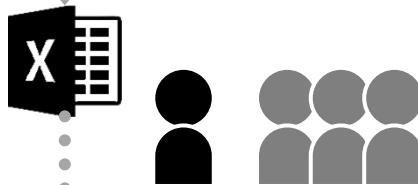
現行インターフェイス

新インターフェイス

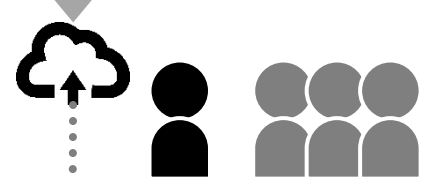
一括登録テンプレート
ダウンロード



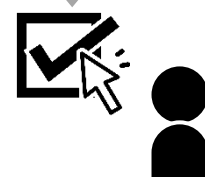
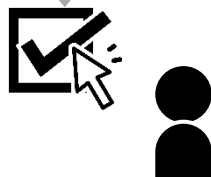
一括登録テンプレート上で
データ作成



データ作成済みのテンプレートをアップロード
(仮登録)



仮登録データの承認
(正規登録)



管理者ユーザーだけがができる操作

管理者ユーザーだけがができる操作

※メンテナンスモードへ切り替えずに操作できるようにすることも検討中

仮登録中のデータを 「ストック」できるようになります。

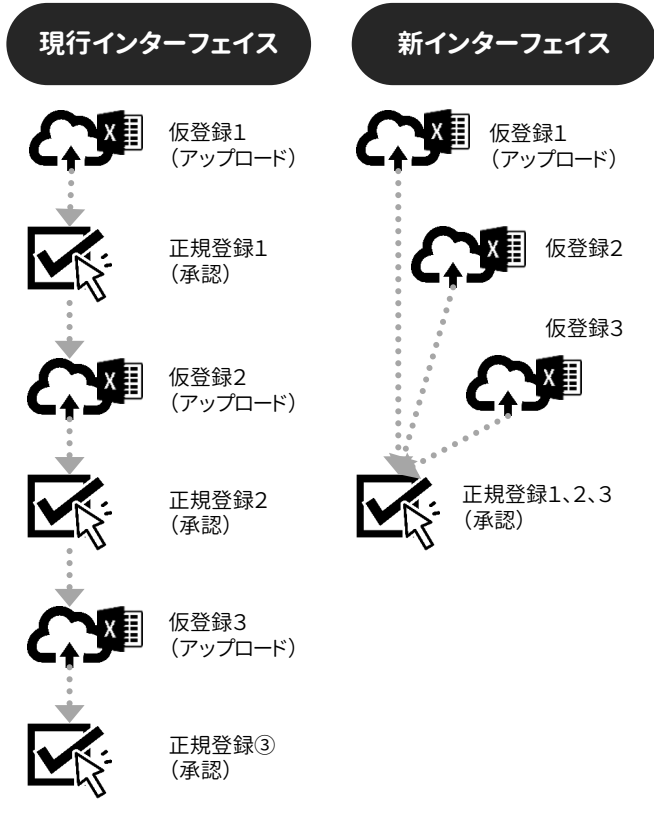
前掲のチャートの通り、一括登録・一括更新の操作では、データを仮登録した際にエラーがあれば画面に表示されます。テンプレートを修正して再度仮登録するか、画面上でエラーを修正すれば、あとは正規登録を行って作業完了となります。

一般ユーザを含む複数のスタッフが大量のデータを登録するような場面では、現行インターフェイスでは、主にふたつの要因から管理者ユーザの負担が大きくなりがちでした。

ひとつは、仮登録の段階からメンテナンスモードに切り替える必要がある点です。各分野の登録権限を持つ一般ユーザは、Excelテンプレートを準備するところまでは担当できますが、メンテナンスモードに入ると作業不能となります。たとえば管理者ユーザが仮登録を行う日、勤務シフトなどの都合で担当の一般ユーザが館内にいなければ、エラーがあった場合にその場で修正できません。こうした場合、管理者ユーザは確認作業で奔走することになります。今回のリニューアルでは一般ユーザも仮登録作業を担当可能となるため、逆に管理者ユーザが不在でもアップロード(仮登録)からエラーチェック、テンプレートの修正までは完了できるようになるわけです。

もうひとつの要因は、現行インターフェイスではひとつひとつのテンプレートの処理を終えてから次に進むという手順にあります。「正規登録するか」「引き返すか」を決定しなければ次のデータの仮登録ができませんが、正規登録は管理者ユーザのみが行えるため、次のテンプレートが仮登録を待たせながら作業を急かされることになりがちでした。また、今後、一般ユーザが仮登録を行える

例えば、3件の一括登録を行う場合。



ようになって「管理者ユーザが正規登録を行わない限り次の仮登録に進めない」なら、せっかくの利便性も魅力半減となってしまいます。

そこで、「仮登録データのストック」を可能とします。正式登録を行う権限を有する管理者ユーザが不在の日でも、多数のテンプレートの仮登録を進めておくことができるようになります。なお、正式登録は仮登録順で行う必要はなく、管理者ユーザは急ぐものから優先して作業できます。

一括登録（テキスト）の作業一覧画面

データ種別	アップロードファイル名	一括処理名	状況	登録日	登録状況	件数	仮登録ユーザ	承認ユーザ	操作	
1	民俗	民俗2022年度受入資料.xlsx	民俗2022年度新規受入	解析中	2022/04/01 13:12:11	新規登録	1,700件	早稲田太郎	早稲田太郎	確認 ...
2	美術	美術公開データ更新.xlsx	美術公開データ更新	本登録完了	2022/04/01 13:12:11	更新	1,700件	早稲田太郎	早稲田太郎	確認 ...
3	美術-作家	早稲田太郎作品更新.xlsx	早稲田太郎作品更新	本登録完了	2022/04/01 13:12:11	新規登録	1,700件	早稲田太郎	早稲田太郎	確認 ...
4	歴史	テストアップロード.xlsx	テストアップロード	棄却	2022/04/01 13:12:11	新規登録	1,700件	早稲田太郎	早稲田太郎	確認 ...

一括処理の結果一覧。仮登録のストック分もここに一覧表示されます。

一括登録用テンプレートは、ここからダウンロードします。

一括登録（テキスト）の作業内容詳細画面

早稲田ミュージアム収蔵品データベース

戻る データ一括処理・民俗2022年度新規受入

データ再アップロード データの一括登録 正規登録

Excelテンプレートのダウンロード 新規登録用 一括更新用 画像紐付け用

一括処理状況

件数 新規 7 更新 0

ファイル内 問題なし 7 警告 0 エラー 0

仮登録ユーザ 早稲田太郎 本登録ユーザ 早稲田太郎

すべて エラー 警告

一括登録データ一覧

表示している項目のうち 問題なし 7 警告 0 エラー 0

1件目~10件目 1 / 72

行番号	エラー	登録状況	大分類コード	登録NO	資料番号	中分類コード
1	3	新規	03			歌川広重 令和2年度定期壊蓋
1	0	新規	03			歌川広重 令和2年度定期壊蓋
1	0	新規	03			歌川広重 令和2年度定期壊蓋
1	2	新規	03			歌川広重 令和2年度定期壊蓋
1	0	新規	03			歌川広重 令和2年度定期壊蓋
1	0	新規	03			歌川広重 令和2年度定期壊蓋
1	0	新規	03			歌川広重 令和2年度定期壊蓋

1件目~20件目 1 / 72

ソート 表示項目 20件

作業中の一括登録について、エラーの有無、数などの処理状況概要を表示するエリア

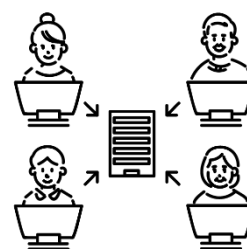
対象データの処理状況詳細を表示するエリア。現行インターフェイスと同様にエラーの修正ができますが、リニューアル後は1データごとに修正が反映されるようになります。

仮登録中データの修正画面も 分かりやすく、操作しやすく。

仮登録を行った後、また前の画面で仮登録データを選択すると、エラーの有無などを確認できるこの画面が表示されます。これは現行インターフェイスと同様の構成となっていますが、新インターフェイスでは、次の2点が改善されます。

まず、仮登録の結果を一覧表示する画面では、現行同様、右欄外のデータを横スクロールしながら確認できます。現行インターフェイスではすべてのデータが横にスクロールされる場所、新インターフェイスでは左側のいくつかの列が固定されますので、確認中の行（データ）がひと目で把握できるようになります。

もうひとつ、仮登録データの再チェックも作業が大幅にラクになります。一括データ確認画面での直接編集は現行インターフェイスでも可能ですが、編集結果のチェックは「再検証」ボタンですべてまとめて行う必要がありました。これに対し、新インターフェイスでは1行=1データずつの確認が可能で、データを修正すると内容がチェックされて仮登録に反映され、上部に表示中の一括処理状況のエラー数などにも反映されます。また、一括登録から除外したいデータがある場合も、この画面で除外することができます。

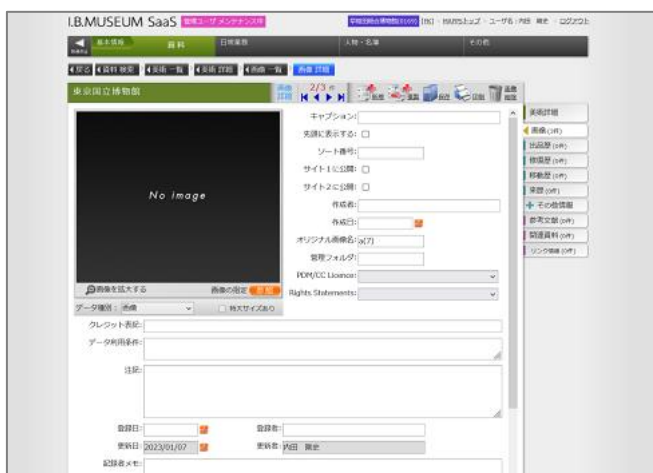


操作手順まわりの見直し

難しかった「画像照合アップロード」の 操作手順を、大きく簡略化。

画像をまとめて登録したい場合、現行インターフェイスでは「画像照合アップロード」という機能を利用できます。1枚ずつ登録する通常の方法に比べて省力化を実現できる一方で、一部の操作が難解で扱いにくいというお声が多いことは、弊社『ミュージアム・インタビュー』などでもよくご紹介してきた通りです。しかし、大量に送られてきた画像がそれぞれ「どの資料のものか」をシステム自身が自動識別することが不可能である以上、「紐付け」の作業はどうしても必要です。しかし、まさにこの紐付けの手順こそが、この機能の難しさの原因ともなっていました。

現行インターフェイスの操作では、まず画像を登録したい資料のIDと名称を取得するために、Excelのリストをダウンロードします。次に、資料と画像を紐付けるためのExcelシートをダウンロードします。続いて、ふたつ目のExcelに対し、ひとつ目のExcelに載っている資料IDと名称を貼り付け、画像を登録したい資料の行に画像ファイルのオリジナル画像名を入力していきます。中身を埋めて紐付け用として一括登録すると、画面上では「空の画像データ」が作られます。下の通り、画像データの欄が機能してはいるものの、肝心の画像が「No Image」となっている状態です。



【現行画面】

画像データそのものはなし（No Image）で、画像を入れる「器」としてのデータのみ出来上がった状態

そこで、次ページ下の「画像照合アップロード」画面にドラッグ&ドロップで画像を登録していきます。この作業は「1枚ずつ」ではありませんが、ここまでの作業でそれぞれの画像の「受け入れ先」は明確に決まっていますので、機械的にドラッグ&ドロップを行えば、登録したい資料の画像欄にしっかりと収まってくれるわけです。

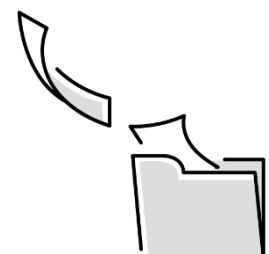
作業の大筋は以上となりますが、実際の操作以上に作業が難しく感じてしまうのは、紐付け用のExcelへの「オリジナル画像名」の登録の際に強い制約があるためです。

まず、オリジナル画像名に全角文字は一切使用できません。登録できない記号や文字などが多い上に、拡張子の大きい小文字まで、すべて正しく入れなければなりません。こうしたルールに加え、オリジナル画像名は手入力しなければなりませんので、単純なタイプミスも発生しやすくなります。

また、これらの入力作業のどこかでミスが起きても、それは画像をドラッグ&ドロップでアップロードする段階まで判明しません。ここで初めて気づいた場合、紐付け用Excelに戻って間違いがないかを確認し、場合によってはオリジナル画像のファイル名を付け直すこととなります。

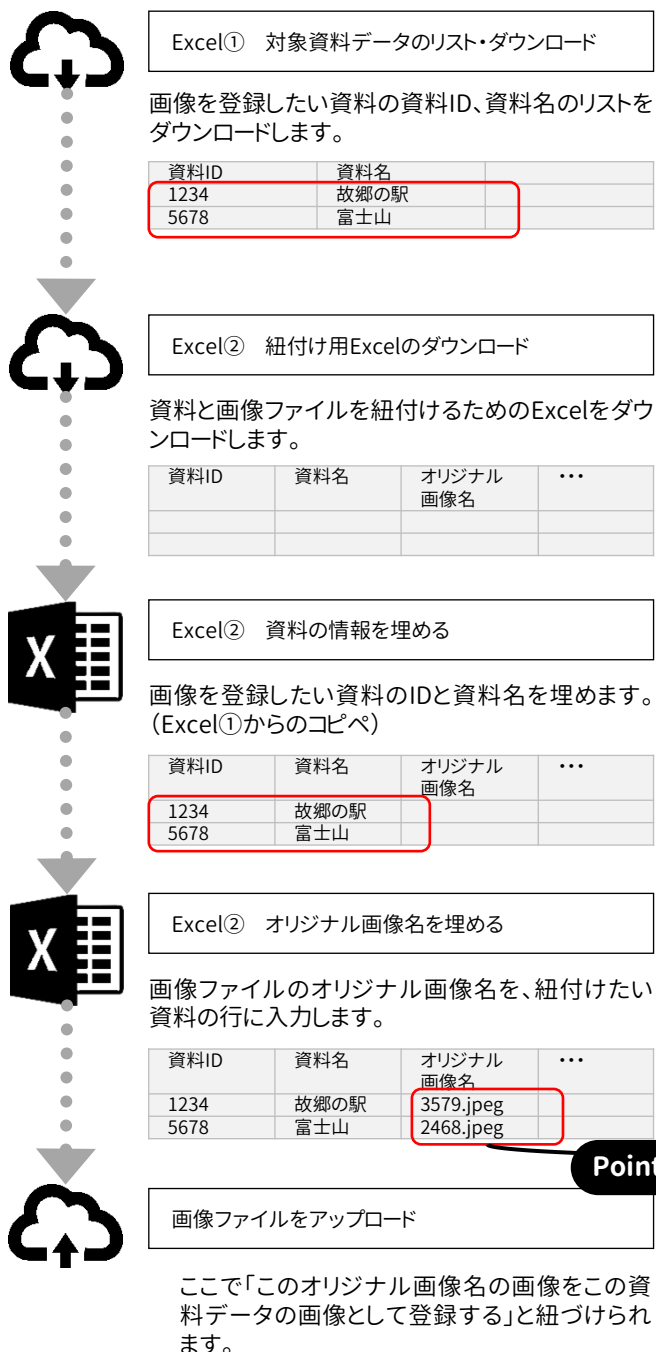
このように、便利ではあっても難しい操作の多かった画像照合アップロードですが、今回のリニューアルでは登録の手順を見直すことで、壁と感じやすい「オリジナル画像名」と「ドラッグ&ドロップでの登録」の2点について、その煩わしさが大幅に改善されることになりました。

新インターフェイスでは、まず「メディア」（現在の「全画像」）のメニューで画像をまとめてアップロードします。ここでは1枚ずつではなく、数十枚単位でまとめての操作が可能となりますので、作業がグッと快適になります。また、前述の通り、資料と画像の紐付けの作業は避けて通れませんが、新インターフェイスの紐付け用ExcelにはメディアIDとオリジナルファイル名（オリジナル画像名）が埋まった状態で出力されますので、あとは該当する資料番号を入れるだけ。現行インターフェイスでは手作業だった「オリジナル画像名のExcelへの入力」が不要になりますので、ここでエラーが発生してやり直しを強いられるリスクが解消されるわけです。

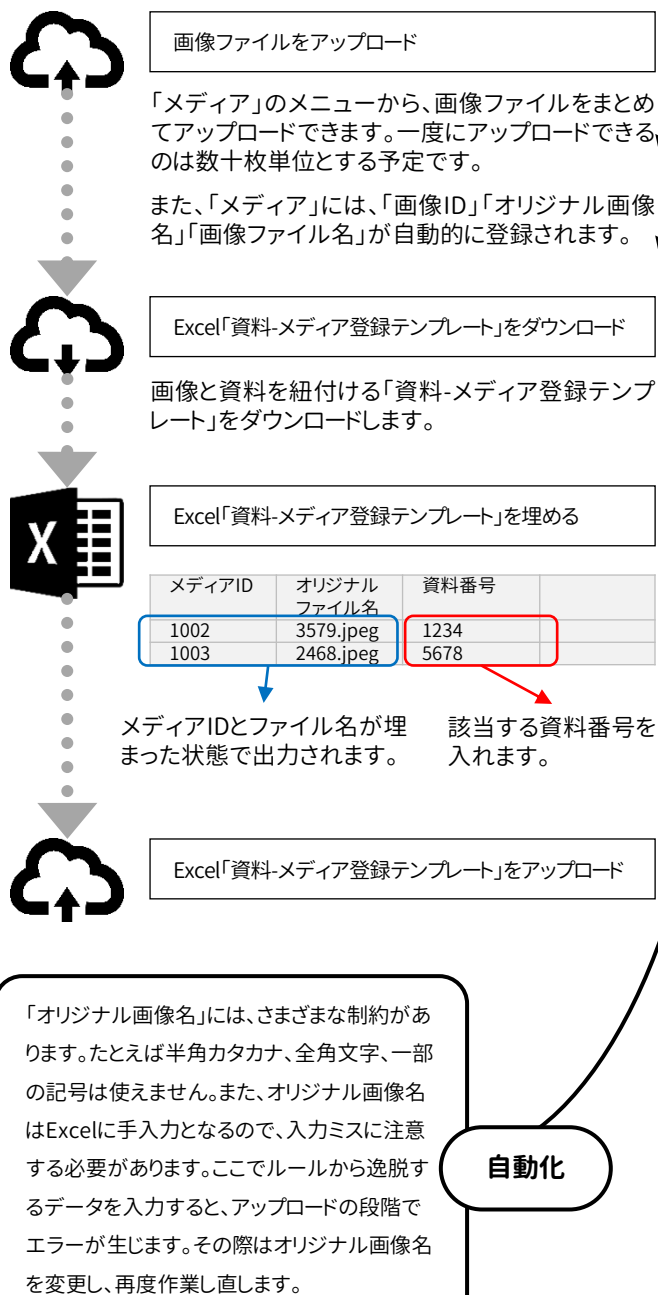


一括登録（画像）の新旧比較

現行インターフェイス

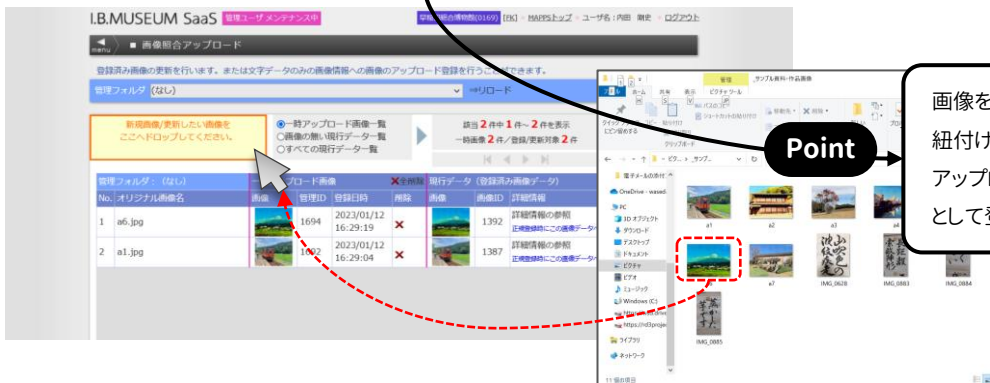


新インターフェイス



自動化

一括アップロードが可能に



今回のまとめ

ここまでお読みいただき、誠にありがとうございました。ご不明な点などはございませんでしょうか。

データベースシステムであるI.B.MUSEUM SaaSは、データが登録されて初めて本格的に効果を発揮します。しかしながら、人間的に常に余裕がなく、展覧会をはじめ多様な業務が押し寄せる現在の環境では、膨大な資料データを登録することは大変な作業です。特に「すべて登録し終えること」はかなり高いハードルで、弊社『ミュージアム・インタビュー』でも連載を開始した2005年から今日に至るまで、システム運用の「不動の課題」であり続けています。

カード型の画面にひとつずつ文字情報を手入力し、画像登録画面で1枚ずつ画像データをアップロードする。そんな作業を何千件、何万件とこなさなければならないとなると、文字通り気が遠くなりそうです。「ひとつずつ」を「たくさんまとめて」に変えられれば、負担は劇的に軽減するのですが…。

それを実現する手段として開発したのが、今回ご紹介した一括処理機能です。しかし、大量のデータを一気に登録できるとなると、むしろ「間違ったら大変だから」と操作を躊躇する方も多いようです。加えて、ご紹介した通りの複雑かつ難解な手順となると、気が引けるのも無理はありません。

そこで、今回のリニューアルでは、現在の画面遷移や処理フローを見直しながら、できるだけ分かりやすい操作環境の実現を目指しました。特に画像の一括登録については、大幅に手順が簡略化されていますので、リニューアル完了の暁にはぜひご確認くださいませ幸いです。

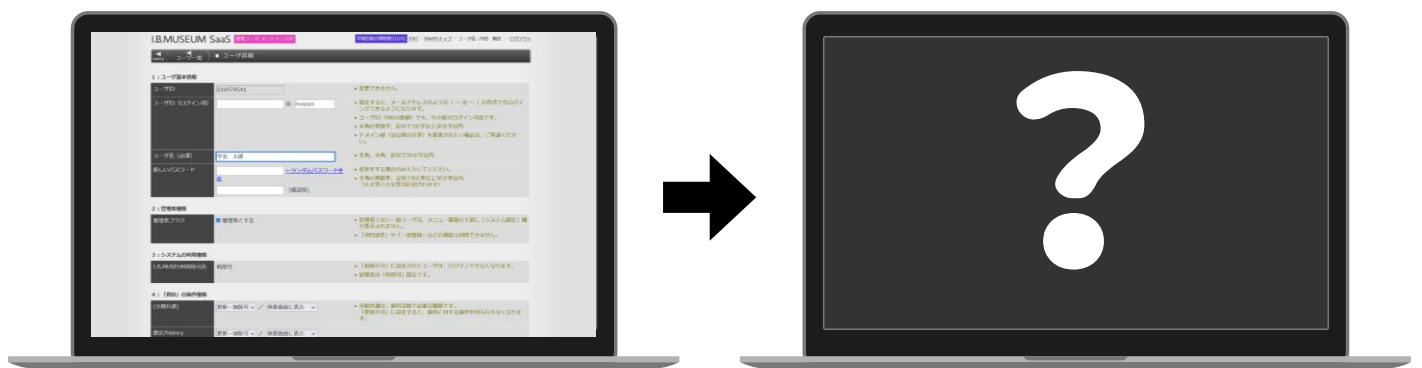
もちろん、「画面が新しくなったからもう大丈夫」とはならないのも当然ですので、操作説明など積極的なサポートを展開する予定です。リニューアルで分かりやすく、使いやすくなった機能をご活用いただき、データ登録のスピードアップに役立てていただけるよう、弊社も頑張っております。

次号についてのお知らせ

さて、次号では、今回とは別扱いとした「ユーザ管理」についてご紹介する予定です。博物館法の改正もあり、各地でデジタルアーカイブ事業が活発に推進されていますが、データ入力要員として臨時スタッフの協力を仰げるケースなど、システムを操作する人が増えることも予想されます。限定的な機能の利用のみを許可する場面など、今後、ユーザごとの利用権限の管理は重要度を増すものと思われるます。

また、情報ガバナンスの意識も高まる一方の昨今ですので、たとえば人事異動に伴うユーザ権限の変更などの頻度が高まる館もあるはず。情報を容易に扱えるデジタル時代が深まるにつれて、活用力が問われそうな重要機能。次号で詳しくご説明いたしますので、ぜひご確認ください。

なお、何度かお伝えいたしております通り、こちらも議論が続くリニューアル実施時期の目安などにつきましても、間もなくお知らせできるものと存じます。恐縮ですが、いましばらくお待ちくださいませ。



- ※ 掲載スケジュールは、すべて発行時点での予定です。開発の状況により変更となることがございます。
- ※ 掲載のリニューアル画面は開発中のものです。